

令和7年度第2回鹿児島県人権尊重の社会づくり審議会開催結果

1 開催日時・場所

令和8年2月17日（火）午後3時から午後5時まで
県庁7階 7-総-1会議室（対面とオンラインによるハイブリッド方式）

2 出席委員

花月委員，上塘委員，口羽委員，久留須委員，鶴田委員，永里委員，農中委員，
疋田委員，肥後委員，藤原委員，山喜委員（計11人）

3 公開等

- (1) 公開・非公開の別 公開
(2) 傍聴者数 1人

4 議事

(1) 県人権教育・啓発基本計画に基づく取組について

ア 前回審議会での指摘事項等への対応

県人権教育・啓発基本計画に基づく，令和6年度の活動実績等への対応や，企業におけるジェンダーに関する意識等の状況について，事務局が説明した後，委員による質疑や意見交換が行われた。

イ 令和8年度の取組について

県人権教育・啓発基本計画に基づく，令和8年度の活動計画について，事務局が説明した後，委員による質疑や意見交換が行われた。

(2) その他

5 主な意見等（要旨）

(1) 県人権教育・啓発基本計画に基づく取組について

ア 前回審議会での指摘事項等への対応

- 取組実績報告の「事業成果」欄をもっと充実して欲しい。事業を行った結果どうなったかについて，数値があれば数値を，数値化が難しい事業については，定性的評価により，次年度へ繋げるものとして欲しい。

イ 令和8年度の取組について

(ア) インターネット社会における人権問題について

- 若い世代への啓発は、インターネットを抜きには考えられない時代であるため、インターネットに焦点を当てて行うべきだと思う。
- 人権研修に資する啓発資料等は、様々なものがあると思う。誰でもすぐに使用できるよう情報の一元化を検討したほうがいいと思う。

(イ) パートナーシップ制度のあり方について

- 今後制度のあり方を検討するにあたり、導入済自治体の状況について情報提供をしてほしい。
- 県民に意識調査を行うのであれば、調査そのものが、性的指向・性自認の理解につながるような調査となると効果的なのではないかと思う。